

●施策名

【施策16】透明性の高い、開かれた教育を推進します

(関連指標：指標62～指標63 (P56))

- i 学校評議員制度及び学校評価の市町村立学校への導入促進
- ii 県立学校における学校評価や保護者・地域住民等への情報提供の充実
- iii 学校経営能力の向上
- iv 「ふくしま教育の日」啓発と「学校へ行こう運動」の推進
- v 教職員の服務倫理の確立【再掲】

●代表的な取組の進捗状況

i 学校評議員制度及び学校評価の市町村立学校への導入促進

○ 学校評議員制度の導入の促進、学校評価の充実

保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、学校経営を改善し、開かれた学校づくりを進めるため、市町村立学校における学校評議員制度の導入を促進する。また、市町村立学校が教育活動の成果等について、適切に説明責任を果たし、学校経営を改善し開かれた学校づくりを進めるため、学校評価の適正な実施と効果的な活用を促進する。

(H26実績)

- ・ 市町村立学校に対し、学校評議員制度の取組状況について実態を把握し、さらなる活用のために情報提供を行った。
- ・ 市町村立学校に対し学校評価に関する実施状況調査を実施し、今後の方向性についての情報提供を行った。

ii 県立学校における学校評価や保護者・地域住民等への情報提供の充実

○ 学校評議員による学校関係者評価の実施

保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、学校経営を改善し、開かれた学校づくりを進める。

(H26実績)

- ・ 学校評価における自己評価の平成26年度実施状況は100%だった。また、授業の理解度やその他の学校に関する意見・要望等を把握するための児童生徒・保護者・地域住民を対象に実施する外部アンケートの実施状況も100%だった。
- ・ 定期的に評議員を入れ替え、評価に関する視点の活性化を図った。

iii 学校経営能力の向上

○ 新任校長・新任教頭研修会

新任校長・教頭に対し、学校管理、学習指導、生徒指導等に関する諸問題について研修を行い、教職員のリーダーとして全校的視野に立つ指導力の深化を図る。

(H26実績)

- ・ 校長・教頭としての自覚をより明確にするとともに、学校を取り巻く各種の課題解決のためにリーダーとしての指導力の深化をはかった。教頭については、法規的な演習の時間をより多く確保し、具体的な事例についての演習を行う事によって、実務能力の向上をはかった。

iv 「ふくしま教育の日」啓発と「学校へ行こう運動」の推進

○ 「ふくしま教育の日」啓発

県民の教育に対する理解を深め、本県の学校教育、社会教育及び文化・スポーツを充実、発展させることを目的として条例で定めた「ふくしま教育の日（11月1日）」について、広くその趣旨の理解・普及を図る。

(H26実績)

平成26年度は11月1日「ふくしま教育の日」に「教育フォーラム」を開催し、約300名の参加者とともに、本県に教育及び「ふくしま教育の日」の趣旨を理解してもらうことができた。平成25年度と比較して、行事件数は7.0%の増加、参加者は13.2%の増加であった。これは過去3年間で最も多い参加者であり、ふくしま教育週間の趣旨が広く実施されたと言える。

●問題点・改善等が必要な項目

① 学校評議員制度及び学校評価の市町村立学校への導入促進

- ・ 自己評価を踏まえての学校関係者（当該学校の職員を除く）による評価の充実。
- ・ 学校評議員として適切な人材の確保と学校側からの情報提供の在り方。

② 学校経営能力の向上

- ・ 学校経営の責任を担う校長の資質の更なる向上。

●取組の方向性

① 学校評議員制度及び学校評価の市町村立学校への導入促進

- ・ 学校関係者による評価の充実に向けて、適切な情報や資料を提供します。
- ・ 保護者や地域住民の意向を把握・反映させ学校経営を改善し、開かれた学校づくりを進めていく。

② 学校経営能力の向上

- ・ 校長に対する学校組織マネジメント等の研修や、新任校長に対する学校管理、学習指導、生徒指導等の諸問題についての研修を行う。